

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-20

4-I  
-20

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	パークアンドライド等多様なアクセス方法の検討
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	20 アクセスルート・遺跡周辺の交通対策(交通規制等の検討)		事業主体	佐渡西警察署
	事業実施期間	H28~H34		関連団体 佐渡地域振興局地域整備部、県警交通規制課、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市建設課
事業概要	【事業目的】 ○ アクセスルート及び遺跡周辺の人や車の動線を考慮し、必要により交通規制等を検討・実施し、渋滞等を防ぎ住環境を守るとともに、来訪者の円滑な移動の促進を図る。			
	【事業内容】 ○ アクセスルート及び遺跡周辺の交通状況等の把握、検討。 ○ 安全と円滑な運行が図られるため交通規制等必要な交通対策を講ずる。			
事業実績	【事業成果】 ●交通安全施設の整備や交通規制の実施については、地域住民の意見・要望を把握し、道路交通実態を踏まえた整備を推進している。  ●安全な道路交通環境の整備に当たっては、道路を利用する人の視点を活かすことが重要であることから、地域住民や道路利用者の主体的な参加の下に交通安全施設等の点検を行っている。			
	【課題】 ■自動車の過度な集中による弊害を緩和するTDM(交通需要マネジメント)の取り組みに関して、交通事業者との連携、協力を図りながら、継続的な普及、啓発活動を推進しなければならない。  【今後の取組】 ■今後、佐渡市において策定されるパークアンドライドのための駐車場整備計画等にもとづき、関係機関と連携しながらアクセスルート等における各種交通安全対策を推進する。			
事業評価	【事業の達成度】 [ a (b) · c ]			
	【事業実施の効果】 [ a (b) · c ]  ◇ 地域住民の意見要望を把握したことにより、交通規制の計画的な整備が進められた。地域住民や道路利用者の主体的な参加のもとに交通安全施設等の点検を実施したことにより、危険箇所の情報共有がなされた。アクセス道路やその周辺の生活道路に係る総合的な対策が推進できている。			
【総合評価】 [ A (B) · C ]				

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。